

藤木大地

カウンターテナー リサイタル

ピアノ◎マーティン・カツ



■プログラム

ジョルダニー：カーロ・ミオ・ベン

加藤昌則：てがみ

武満徹：死んだ男の残したものは

J.S.バッハ：満ち足りた安らぎ、いとしい魂のよろこびよ

バーンスタイン：シンプル・ソング 「ミサ」より

ほか

*都合により曲目の一部を変更する場合があります
予めご了承ください

Daichi Fujiki
Countertenor Recital

[Vol.36] 田部京子ピアノ・リサイタル 10月17日/吉松隆：プレイアデス舞曲集より ベートーヴェン：ピアノソナタNo.27 シューベルト：ピアノソナタNo.20 ほか

[Vol.37] 宮田大チェロ・リサイタル 11月28日/ファリャ：スペイン民謡組曲 尾高惇忠：独奏チェロのための〈瞑想〉 ラフマニノフ：チェロ・ソナタト短調Op.19 ほか

平成29年

12/12 [火] 14:00 開演(13:30 開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席指定・1階席先行販売] 2,500円 (3公演セット料金 6,000円) *就学前のお子様はご遠慮ください

◎1階席のみの販売です。ただし、1階席完売となった場合は2階席を販売します。

◎セット料金は3公演一括購入いただいた場合のみ適用となります。ネットでの取り扱いはありません。

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き。各会員割引の取扱いは文化振興財団のみです。

7月21日(金) 9:00 予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。初日の電話申し込みは1回につき1公演6枚まで。

◆お申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055 (9:00~17:00)/インターネットチケット www.ibabun.jp

*予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売(残席がある場合)は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター (9:00~17:00) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター (9:00~17:00)

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

◆その他の販売所 [7/21店頭販売有10:00~]

ローソンチケット0570-000-407 [オペレーター対応]・Lコード予約0570-084-005 (Lコード 56458)

*ローソンの取り扱いチケットは、ローソン、ミニストップ各店舗で購入できます。

チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード 330-495)

*ぴあの取り扱いチケットは、セブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で購入できます。

*ローソン、ぴあではセット料金の取扱いはありません。

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆後援：茨木商工会議所/茨木市観光協会

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



◆藤木大地 Daichi FUJIKI◎カウンターテナー

2017年4月、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場に鮮烈にデビュー。アリベルト・ライマンがウィーン国立歌劇場のために作曲し、2010年に世界初演された「メディア」のヘロルド役(M.ボーダー指揮)での殿堂デビューは、「大きな発見はカウンターテナーの藤木大地だった。あの猛烈なコロラトゥーラを彼のような最上の形で表現できる歌手は多くはない」(Der Neue Merker)、「藤木大地はそのカウンターテナーで、説得力のある印象を残した」(Oper in Wien)、「藤木大地は芯のあるクリーミーな声のクオリティと、眩いばかりの音のスピンの力で、モダンオペラの化身となった。」(Parterre)、「藤木大地は難解なヘロルド役をわがものとしていた」(Salzburger Nachrichten)など、現地メディアからセンセーショナルに絶賛されるとともに、音楽の都・ウィーンの聴衆からも熱狂的に迎えられただけでなく、日本人カウンターテナーとして史上初めての快挙として、日本国内でも大きな話題となっている。

最近では、16年に東京・春・音楽祭での紀尾井シンフォニエッタ(R.エガー指揮)との共演、Hakuju Hall主催「音楽劇紀行」第一夜および第二夜への出演、兵庫県立芸術文化センターではブリテン「夏の夜の夢」(佐渡裕指揮)にオーベロン役で主演、没後20年を迎えた武満徹を特集して行われた第11回Hakuju ギター・フェスタでは、荘村清志、福田進一との共演により「SONGS」を

絶唱し、好評を博した。また、「題名のない音楽会」(テレビ朝日)での「死んだ男の残したものは」の歌唱は、全国的な話題となった。「第九」アルトソリストとしては、これまでに東京フィル(小林研一郎指揮)、日本フィル(藤岡幸夫指揮)、新日本フィル(園田隆一郎指揮)、仙台フィル(高関健指揮)、九州交響楽団(黒岩英臣指揮)などと共演している。

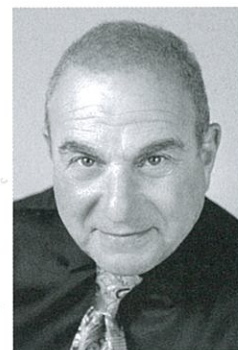
17年には第60回NHKニューイヤーオペラコンサートに4年連続出演したほか、大阪フィル(大植英次指揮)、日本センチュリー響(沼尻竜典指揮)、名古屋フィル、九州交響楽団(小泉和裕指揮)との「カルミナ・ブラーナ」テノールソロでの共演や、各地でのリサイタルなどが予定され、活躍はますますの充実をみせている。また4月には、待望のデビューCD「死んだ男の残したものは」(キングインターナショナル)がリリース。谷川俊太郎から「懐かしいリリズムの新しい目覚め」と評された。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで国際的な活動を第一線で展開する、現在最も注目を集めるアーティストのひとりである。第19回松方ホール音楽賞受賞。第25回青山音楽賞青山賞受賞。

ウィーン国立音楽大学大学院(文化経営学)修了。

◆マーティン・カツツ Martin KATZ◎ピアノ

“現代最高の共演ピアニスト”(ニューヨーク・タイムズ)
 “カツツは声楽伴奏の王道を創造する”(ワシントン・ポスト)

40年以上にわたり声楽伴奏者として世界中で活躍。共演者は、マリリン・ホーン、キリ・テ・カナワ、キャスリーン・バトル、ホセ・カレーラス、フレデリカ・フォン・シュターデ、チェーチーリア・バルトリ、など数限りない。ミシガン大学ピアノ教授として30年以上にわたりピアノ共演法、声楽曲解釈などを教えるほか、米国有数の劇場であるミシガン・オペラ・ハウスやサンフランシスコ歌劇場ではオペラの指揮者として出演。国外ではヘルシンキのシベリウス・アカデミーや日本の新国立劇場オペラ研修所に招かれ、若い声楽家たちの指導にあたってきた。1998年には、アメリカ最古の音楽雑誌「ミュージカル・アメリカ」で“Accompanist of the Year”(本年最高の伴奏者賞)を受賞。



◆チケットのお申込み・お問合せ

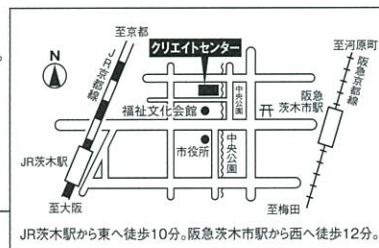
茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00~17:00)

*財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。お席のご指定もうかがいます。座席表をご用意いただくと便利です。

*予約後は1週間以内にクリエイトセンター1階または福祉文化会館3階チケットカウンターでご精算ください。

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払ください。払込手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座) 00970-7-190576 / 加入者名: 茨木市文化振興財団



◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

Vol.36

田部京子 ピアノ・リサイタル

吉松隆: プレイアデス舞曲集より
 モーツァルト: ピアノ・ソナタ第10番 八長調 K.330
 ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第27番 ホ短調 Op.90
 ブラームス: 4つの小品 Op.119より第4曲 “ラプソディ”
 シューベルト: ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D.959
 ほか

10/17 [火] 14:00 / クリエイトセンター / 2,500円

Vol.37

宮田 大 チェロ・リサイタル

カサド: 親愛なる言葉
 ファリャ: スペイン民謡組曲
 尾高惇忠: 独奏チェロのための〈瞑想〉
 ブルッフ: コル・ニドライ
 ラフマニノフ: チェロ・ソナタ ト短調 Op.19
 ピアノ◎木村 徹

11/28 [火] 14:00 / クリエイトセンター / 2,500円